

穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業に係る事後調査報告書の概要について

6 穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業

(1) 事業の概要

① 事業者	穂高広域施設組合
② 事業実施区域	安曇野市
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 120t/日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力4 t/時（96 t/日）以上）
⑥ 関係地域	松本市、安曇野市及び池田町

(2) 事業の経過

H27. 12	環境影響評価方法書公告
H29. 9	環境影響評価準備書公告
H30. 2	環境影響評価書公告
H31. 3	対象事業着手報告書提出

(3) 事後調査報告書の概要

○ 工事中における水象、植物、動物の調査結果を報告。

○ 水象

調査項目	調査・検討の結果
採用する工法が地下水位に与える影響の検討	掘削に際して地下水の遮断を行わず、排水にたよらない「スーパーラップルエルニード工法」を採用。
わさび田周辺の水位及び流況	水面標高は2地点で低下したが、流況に大きな変化なし。
地下水位観測	上昇傾向で安定しており、顕著な低下は見られなかった。

○ 植物

調査項目	事後調査計画の内容	調査内容	調査結果
クマツヅラ	生育状況調査 移植必要性検討・移植作業 移植後モニタリング	現地調査 移植必要性検討 (H30年8月)	区域内及びその周辺の植生自然度の低い環境に生息し、分布が拡大傾向にあることなどから、移植等の保全措置は実施せず。
アオガヤツリ	対象外 →変更区域で確認されたため、調査を実施。	現地調査 移植必要性検討 移植作業 (H30年11月)	踏圧等のかく乱を受ける不安定な立地に生息。播種により新たな生息場所を確保すべく種子、草体及び周辺土壌を採取。

○ 動物

調査項目	事後調査計画	調査結果等
ハヤブサ	生息状況調査	H31年度調査：つがい形成、繁殖開始と判断される行動を確認
コウフオカモノアラガイ	生息状況調査	2回の調査でオカモノアラガイ類は生貝計1個体、死貝計86個体を確認
タマメマイマイ	—(※)	2回の調査で生貝多数を確認。個体数が多いことから移植は実施しない。
ヒメカメムシ	—(※)	変更区域で確認された個体を捕獲し、自然緑地に放虫

※事後調査計画では調査対象としていなかったが、生息環境が一部消失することから調査対象に追加。